

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 災害派遣医療チーム体制整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2535)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,398 千円 (前年度予算額：5,398 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,398	0	0	0	0	0	0	0	5,398
要求額	5,398	0	0	0	0	0	0	0	5,398
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・大地震や航空機・列車事故といった災害時に被災地に迅速に駆けつけ、医療活動を行う災害派遣医療チーム (DMAT) の整備を行っている。
- ・災害時における医療の初動の遅れによる被災傷病者の救命率の低下を防止するため、DMATの体制強化を図るための連絡会議、研修会を開催するほか、災害現場で危険にさらされる隊員に対する保険料を負担する。
- ・局地的な災害が発生した場合、DMATの活動経費を迅速に支弁することが可能な体制を整備することで、DMAT活動を支援する。

(2) 事業内容

現場で危険にさらされる隊員に対する保険料
DMAT連絡会議及びDMAT研修の開催
局地的な災害が発生した場合のDMAT活動経費を支弁

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜DMAT隊員は、DMAT指定病院から推薦のあった者を県が登録

を行い、また、災害時には、県からの要請に基づき出動する。岐阜DMA T 隊員が災害現場で安心して活動するための保険料や、災害救助法が適用されない局地的災害の発生時に出動した際に執行される活動経費のほか、DMA T 連絡会議や研修会によりDMA T の連携強化や技能の向上に貢献するものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	158	連絡会議旅費
需用費	30	連絡会議消耗品費、会議費
役務費	3,996	保険料等
委託料	1,174	災害時のDMA T 活動経費、研修委託費等
その他	40	連絡会議会場借上料
合計	5,398	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

岐阜DMA T の活動が続く限り実施。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 DMAT 研修、連絡会議を開催し県内の災害拠点病院に整備されている岐阜 DMAT の連携体制と技能の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
		(H29)	(H30)			
DMAT 研修、連絡会議等の開催回数	0 (H18)	6 (H29)	6 (H30)	4 (R01)	5 (R02)	80%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 ・MCLS（多数傷病者への対応標準化トレーニングコース）
 開催日：9月21日～22日、11月30日～12月1日
 場 所：岐阜大学医学部附属病院
 受講者：各回24名（県内災害拠点病院、消防本部職員 等）
 ※令和2年度事業は、10月現在で未実施、今後実施予定

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 県内災害拠点病院等の災害医療関係者を対象に、岐阜 DMAT 研修を複数回実施し、災害時に多数傷病者を病院で受け入れるための訓練を行うことができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	DMA T 隊員が災害現場で安心して活動するための保険料や活動経費の他、DMA T 連絡会議や研修会により DMA T の連携強化や技能の向上に貢献するものであるため、その必要性は高いと思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	岐阜 DMA T 研修を複数回実施し、県内の災害拠点病院の災害医療関係者の対応能力の向上を図ることができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	岐阜 DMA T の連携機能及び体制の強化を目的として、連絡会議と研修を効率的に実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 平成 25 年度に行った災害拠点病院の設備整備や広域医療搬送拠点の整備といったハード整備に併せて、これらを DMA T 隊員や災害医療関係者で運用できる体制を構築するため、継続的な訓練等を実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 災害派遣医療チームは、災害時の急性期を担う重要な組織体制であるため、今後も当該事業を継続していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	